

障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議との協議等議事録（要旨）

政策企画室 広聴担当

- 1 日 時 令和7年12月15日（月）14時20分から15時30分
- 2 場 所 天王寺区民センター 1階ホール
- 3 団 体 名 障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議
- 4 協議等の趣旨 障害者の自立と完全参加をめざす要望についての協議
- 5 出 席 者
（団体側）
30人
（本 市）
都市交通局 4人 計画調整局 2人 福祉局 4人 建設局 1人

6 議 事

（1）交通バリアフリー基本構想について（交通・まちづくりに関する要求項目1. ②）

団体要望概要

- ・大阪市交通バリアフリー基本構想において、ワークショップを経て浮かび上がった課題について、解決につながる仕組みになっていないように思われる。5年後の中間見直しに向け、課題にどのように取り組んでいくかについて、当事者も含めて課題解決に向けた意見交換や進捗管理を行ってほしい。
- ・大阪市交通バリアフリー基本構想推進協議会において、継続して検討を行う項目に対する検討の進め方について「国のガイドラインを考慮しながら・・・」という発言があった。国のガイドラインの内容では不十分であり、また、改訂を待っているのは遅いので具体的に進めてほしい。

本市説明概要

- ・大阪市交通バリアフリー基本構想にかかる定期的な進捗確認や課題の共有の場として、大阪市交通バリアフリー基本構想推進協議会を継続して設置する。
- ・第13回大阪市交通バリアフリー基本構想推進協議会において、本市から継続検討項目にかかる国などの検討状況について整理した資料を提示し、今後の進め方について議論していただくと考えている。

(2) 駅ホームの安全な利用、無人化への対策検討について（交通・まちづくりに関する要求項目 2. ②）

団体要望概要

- ・ホームと車両の隙間の段差解消、ホーム柵の設置などについて、Osaka Metro を初め、鉄道各社に早く設置や改善を進めるよう、団体の声を届けてほしい。（意見のみ）
- ・Osaka Metro のバリアフリールートについては、エレベーターが一時期に整備されたため、更新工事の時期も集中する可能性がある。更新工事が円滑に行われるよう、エレベーターの増設、複数ルートの確保を早期に実現するようにしてほしい。（意見のみ）
- ・Osaka Metro 御堂筋線のホームと車両間の段差隙間縮小に関する表示が分かりにくく、また、改札口やホームの駅員が減少していることで、情報が正しくが行き届かず、車いす利用者が乗りたい電車に乗れない事象が発生している。（意見のみ）

(3) 交通機関の安全かつ円滑な利用について（交通・まちづくりに関する要求項目 2. ④、⑤）

団体要望概要

- ・オンデマンドバスの乗り方や予約の仕方が分かりづらい。大阪シティバスの路線バスを無くさないでほしい。（意見のみ）
- ・オンデマンドバスが急激に市内で拡大している背景には、2027 年を目途に路線バスを廃止しオンデマンドバスに代替するからなのかを聞きたい。
- ・視覚障がい者が予約すらできず、車いす利用にも制限があり、福祉割引も少ない。社会実験であってもあまりに障がい者が取り残されており、新たな社会的障壁を作っているようなものだ。これからみんなの声を聞いていきたいのであれば、そういった場をつくって当事者を入れるべきだ。
- ・誰でも乗れるオンデマンドバスをお願いしたい。（意見のみ）

本市説明概要

- ・路線バスの廃止を考えた上での導入ではなく、現状はプラスオンのサービスである。A I オンデマンド交通は、路線バスと比べて輸送力に違いがあり、区域内しか移動ができず長距離移動には使えないので、役割分担が違うという認識である。
- ・A I オンデマンド交通の社会実験については、視覚障がい者の方や車いすの方、高齢の方、ベビーカーをお持ちのお子様連れの方等、みなさまに便利に使っていただくにはどうすれば良いかを、試行錯誤しながら改善をはかっていくものであり、現状が完成形ではないと思っている。皆様に利用いただき、この交通網が地域にどう根付いていくかが社会実験の 1 つの大きな課題である。運行事業者である大阪メトロにもいただいたご意見を伝え、改善していきたいと思っている。

(4) 交通機関の安全かつ円滑な利用について（交通・まちづくりに関する要求項目 2. ③）

団体要望概要

- ・鉄道施設と公共用通路間の移動経路の一部となる民間施設内の移動の円滑化の確保については、鉄道事業者と民間施設所有者等の維持管理協定等で確保するのではなく、行政も間に入って取り組んでほしい。
- ・大阪市交通バリアフリー基本構想ワークショップで出た当事者の声を民間施設所有者等に伝えるだけで終わるのではなく、ワークショップで出た課題の解決に向けて、1年に1回は、当事者も入った検討する場を設けてほしい。

本市説明概要

- ・大阪市交通バリアフリー基本構想ワークショップで出た意見については、民間施設所有者等に情報提供し、移動の円滑化に向けた対策の検討を依頼するなど、行政として可能な働きかけを実施している。
- ・大阪市交通バリアフリー基本構想にかかる定期的な進捗確認や課題の共有の場として、大阪市交通バリアフリー基本構想推進協議会を継続して設置する。

(5) 長居障がい者スポーツセンターについて（交通・まちづくりに関する要求項目 3. ④）

団体要望概要

- ・長居障がい者スポーツセンターの建て替えについて、来年度以降に具体的な設計等の段階に入っていく。障がいがある方の意見について、パラリンピックにできるようなスポーツ選手に聞くだけでなく、さまざまな方の意見を丁寧に取り入れてほしい。

本市説明概要

- ・これまでも基本構想、基本計画の検討会議への参画や説明会・アンケートを実施してきた。これからも国土交通省が策定した「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」なども参考にして、障がいのある方のご意見をお聞きしていく。

(6) 点字ブロックへの shikAI の導入検討について（交通・まちづくりに関する要求項目 4. ②）

団体要望概要

- ・shikAI は具体的な案内情報を提供してくれるので、当事者は情報を理解することで安心を得られる。
- ・基本構想の関連事業への位置付けだけでなく、環境作りを進めて欲しい。

本市回答概要

- ・他都市の事例を収集しているところであるが、東京ではメトロが自社所有や占用範囲内のみの設置、神戸では JR の駅構内のみの設置である。つくば市は市が協力して道路上に僅かに占用・設置されているが、全国的に道路上への整備事例は限定的である。また、案内方法として、shikAI 以外にコード化点字ブロックやナビレンス、利用者がダウンロードするアプリなど、色々な方法があり、それぞれの方法について課題整理等を行っているところである。
- ・現状はそういった検討の初期段階であり、いつまでに何を行うといった予定を提示することはできないが、今後、当事者の方々から意見を伺う段階に入ったときは、ご協力をお願いする。